

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172901308		
法人名	有限会社 旭川ケアサービス夢		
事業所名	グループホーム夢 西ユニット		
所在地	旭川市春光台4条9丁目4-3		
自己評価作成日	H29年10月	評価結果市町村受理日	平成29年11月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・自然豊かな緑の多い地域に立地している。1階に東西2つのユニットがあり、各居室にはトイレ、洗面台、ナースコールが設置されている。ホール内は自分たちで作った作品や日常の様子を撮った写真を飾り、和やかな雰囲気の中で生活をしている。
 ・大浴場には大きな窓があり、裏庭の木々を眺めながら入浴が出来る。又、個室浴もあり個別対応も可能である。
 ・健康面では、看護師が勤務し健康チェックや医療機関との連絡など適切に行っておりご家族の安心に繋がっている。通院には常に職員が同行し送迎も行っている。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2014_02_2_kani=true&JigvoSyvoCd=0172901308-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット
所在地	札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401
訪問調査日	平成29年10月8日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

旭川市の緑豊かな郊外に位置し、1階に西ユニットと東ユニットが並列している事業所である。リビングは、天井までの吹き抜け構造で、天窓からは自然光が入り明るい。各居室にはトイレ・洗面台・クローゼット・ナースコールを設置しており、自宅から持参した家具や日用品を置き、家族写真を飾り、自宅に在るように寛ぐことができる。光源をかくした柔らかな間接照明は、光を壁や天井に反射させて明暗の差を作り出し、昼間とは違う豊かな表情と広がりを見せ落ち着きがある。利用者の経験や残存能力が発揮できるように、花や畑を作り、近隣施設のお祭りや花見に出掛け、事業所内では、夏祭り・誕生会・収穫祭・茶話会等、行事の準備や参加を支援している。また身体機能に合わせたレクリエーションや運動を日課としており、事業所内でも楽しく過ごせるよう工夫している。定期的に開催している運営推進会議では、利用者の日常生活・事業所の取り組み・行事報告・避難訓練等について話し合い、反省点を検討し業務の充実を図っている。恵まれた住環境の中で、地域との連携を理念として、関係者の理解と協力を得るよう努め、相互の協力関係を強めている地域密着型事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念の他にユニット毎の理念を掲げ、日々の実践に取り組んでいる。	事業所の理念と、各ユニットの理念は、スタッフルームやリビングの目立つところに掲示し、全職員は常に理念を共有し実践につなげているか確認をしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	近隣施設のお祭りに参加したり、町内の方にも施設の行事に参加して頂いている。ボランティアの訪問など地域との交流も行っている。	きぼうまるしえや療育園の北療祭など、地域行事に積極的に参加しており、事業所には大正琴やバンド演奏のボランティア訪問もある。近くにあるギャラリーを訪問し、交流の機会を持っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	相談に来られる方に対し、ケアマネージャーは認知症への対応や介護サービスについての助言を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回、市職員、民生委員、町内会長、御家族、入居者様を交えてホームの取り組みや日常生活の様子などを報告し、意見を頂いている。議事録や報告書を御家族へ送付している。	運営推進会議には、利用者・家族・地域住民・介護高齢課職員等が参加し、職員研修や行事報告、避難訓練などの反省点を討議し、次回の参考にしている。議事録は整備し利用者家族に送付している。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市担当者とは不明な点などについて、その都度連絡し、連携を図り助言や意見を聞きながら取り組んでいる。	運営推進会議の案内や事故報告は市役所に出向き渡している。行政職員は運営推進会議に出席し意見交換をしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中玄関は施錠せず開けるとチャイムがなるようにしている。夜間、転倒転落の危険のある方には御家族の了解を得てセンサーマットを使用している。	全職員は拘束の意義を理解し、自由な生活を尊重して見守りを徹底している。玄関は安全の為に夜間は施錠するが、できるだけ自由な雰囲気を保つよう配慮している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	介護方法や言葉使いについて、職員同士でも意見を出し合ったり、毎月のミーティングでも話し合いを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	実際に成年後見人制度を利用している方もいる。以前にも利用されている方もおり実践を通して学ぶ機会もあった。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には重要事項を説明し理解を得た上で契約している。契約の段階から信頼関係の基礎を作れるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎月の通信「夢だより」を通して御家族には、日々の暮らしを細かく伝えている。御家族から頂いた言葉や意見は記録し全職員で共有し、実践や改善を行っている。	玄関ホールに、意見箱を設置している。家族の来訪時には、積極的に話し合いの場を持ち、意見や要望は記録して全職員で共有している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の申し送りや、個人面談の実施、ミーティングでの話し合いで、職員の意見や提案を聞く機会を設けて反映させている。	会議や個人面談の機会など、職員の業務に対する意見等を出やすくしている。また、意欲を持ち資格取得が出来る様にサポートしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	事業所内で資格取得のサポートを行っている。管理者は職員と個人面談を行い、希望している事、困っている事はないかなど話合っている。労働時間や休み希望も出来るだけ検討している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会や資格試験の受験などについても、希望に応じて勤務調整を行うなど、必要な支援を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括支援センター主催の研修や市外での研修にも積極的に参加し、伝達報告会を行い業務に活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者様が安心して生活できるよう、事前に御家族からも生活歴や趣味などをお聞きしコミュニケーションをとっている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時には、ご本人や御家族からの要望や不安なことなどを聞いて、ケアに取り組んでいる。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人や御家族から困っていることや、心配なことをお聞きし、できるだけ要望にそえるよう努力している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活の中で食事の後片付けや洗濯物たたみなど一緒にやり過ごしています。入居者様はお互い協力し合ったり助けあっている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には、ご本人の様子を詳しくお知らせしている。外出や外泊なども続けられるような環境を作っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	住んでいた自宅近隣の方々が面会に来られる。又、気軽に訪問できるよう配慮している。	盆や正月には外泊し、昔懐かしい友人と会ったり、レストランで食事をしている。年に一度、イギリス在住の孫が面会に来て楽しい時を過ごしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士がコミュニケーションを取れるよう、職員が間に入りレクリエーションや行事などを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も入院先へ面会に行き、状況を把握し、御家族の相談に対応している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	その都度、ご本人の意思を確認している。又、御家族にも意向などを確認している。	事業所独自のアセスメントシートを活用し、日常の会話・表情・行動等から利用者の思いや意向の把握に努めている。また家族からも意見や要望を聞きながら利用者本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御家族や在宅ケアマネージャーより、入居前の情報を得ながら、職員間で情報をサービスに反映出来る様に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人の様子は細かく記録し申し送りなどで確認し現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々のケアから、その方が快適に生活できるよう、カンファレンスを行い介護計画書を作成し実践している。	利用者や家族の意向を計画に反映し、利用者が望む生活が達成できるよう取り組んでいる。モニタリングやカンファレンスで現状を把握し、個々の利用者にも最適な介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や変化のあったことなど介護記録に記入し、職員間で情報を共有し見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人と一緒に買い物へ行ったり、希望があれば外食なども柔軟に行っている。必要な医療機関へ受診、リハビリなど通院介助も行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域行事に参加したり、定期的にボランティアの方達とも交流を深めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望される病院を受診し、通院には必ず職員が同行し、支援を行っている。	本人希望のかかりつけ医へ受診の際は必ず職員が同行し、家族と連絡をとりながら常に適切な医療が受けられるよう支援している。事業所には、看護師が勤務し服薬管理については看護師が中心に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常に看護師と連絡が取れる体制が整っている。気づきや変化など報告し、助言を得たり受診の必要性について確認している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には度々面会へ行き状況把握に努め、医療相談員や主治医、御家族と情報交換を行い早期に退院できるよう支援している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化した場合による指針を契約時に説明し、御家族の意向をふまえながら、事業所として出来得る支援を行っている。	利用者や家族の要望を基に、協力医療機関との連携体制を含み、重度化や終末期への方向性や指針を文書で確認している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時、事故発生時には、看護師に連絡を取り指示を受け対応している。緊急時に備え、救命講習やAEDの使用方法など勉強会で学んでいる。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を行い、消防の方や町内会長さんにも立ち会って頂き、意見を頂いている。非常用品の備蓄も整っている。	地域住民や家族も参加し、避難訓練を行っており、運営推進会議で反省点を話し合い、次回の参考にしている。隣接のグループホームとは、災害時の協力体制について、協定書を交わしている。非常災害対策は運営規定に明記している。	災害時の停電や寒さ対策の備品として、ポータブルストーブの準備を、法人本部と検討することを期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	行動前の声掛けを心掛けている。個々に合わせた言葉かけや対応を心掛けている。	日頃から個々の自尊心を傷つけない様に、言葉かけには十分配慮している。会議や事あるごとに、プライバシー保護について意識付けに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりが自分で決定できるような場面を提供できるよう心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床、就寝、入浴の時間を個々の体調や希望に合わせて支援するよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に訪問理美容を利用している。希望される化粧品などを購入したり一緒に買い物に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	おしぼり作り、食器の後片付けなどその方の出来る力の範囲でお手伝いをして頂いています。行事では入居者様の希望を取り入れている。	誕生日には何が食べたいか確認をしている。茶話会にはアイスクリームを提供し好評である。利用者の嗜好・嚥下・咀嚼状態を考慮した料理は、調理専門職員が作り提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の食事、水分摂取量を記録し適切な量が摂取できるよう支援している。ご本人の状況に合った食事形態で提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後に口腔ケアの介助を行っている。その方によってはスポンジブラシや糸ようじを使ったり、個々に合った介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、声掛けや介助を行っている。周囲の状況に注意し介助を行っている。	排泄チェックを行ないながら、排泄パターンを把握し、トイレでの排泄支援を行っている。各居室はトイレが完備しており、自尊心に配慮している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘ぎみの方には牛乳を提供したり、食事やおやつに乳製品を取り入れている。散歩や運動もできる範囲で行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週2回入浴して頂いている。当日入浴が難しい方には別の日に個室浴など使用している。	入浴による体力の消耗を減らし、気持ちの良い入浴ができるよう取り組んでいる。週に2回は楽しめるよう、希望や生活習慣に合わせて入浴している。一人での入浴を好む利用者は、個室を利用している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は散歩やレクリエーションに参加して頂き、適度な運動を促している。体調や希望に応じ休息して頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師により服薬一覧表がファイルされている。ダブルチェックや指差し確認を行い、誤薬のないよう努めている。薬の変更時や追加処方された場合には変化等を観察、記録し、職員間で情報を共有するよう努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	職員と買い物や外食を行ったり、それぞれの趣味や希望に合わせて、散歩、カラオケなどを行い気分転換を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご本人の希望に応じて、御家族と連絡を取り、外出の機会を作れるようにしている。誕生日の方には、ご本人の希望で外食や買い物へ行っている。	緑豊かな住宅地に位置し、日常的に近隣散歩に出掛けている。また春には全員で花の苗を植え土に触れ、自然に触れている。年間行事予定表は利用者家族に送付している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	小額を所持している方は数名おり、職員と自動販売機へ行き、ジュースを購入したりしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望される方には施設の電話を利用して頂いている。携帯電話を所持している方もいる。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	自分たちで作った作品を展示している。ホールは日当たりも良く、冬は床暖やパネルヒーターを使用し、温度や湿度に注意し居心地の良い空間を作っている。	リビングは天井が高く、天窓から差し込む自然光が、おだやかな雰囲気をもたらしている。季節感のある飾りつけや行事写真、利用者の作品等が飾られており、心地よいアットホームな共有空間になっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールソファで休んだりテレビを観たり、ゆったりと過ごされている。又、居室で休まれたりし思い思いに過ごしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みのある物や、家具、御家族との写真を持ち込み、安心して暮らせるよう工夫している。	居室は、家族とともに危険箇所がないか点検を行い、安全に居心地良く過ごせるよう支援している。各居室には、トイレ・洗面台・クローゼット・ナースコールを設置し、光源は間接照明を採用している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	危険な物は排除しテーブルや椅子の配置に気をつけ、安全に生活できるよう気をつけている。		